

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 劉 美憬

【研究責任者】

聖路加国際病院 神経血管内治療科 新見康成

脳・脊髄シャント疾患を対象とした後ろ向き観察研究

1.研究の対象

2015年1月～2021年3月までに、脳・脊髄シャント疾患に対して当院で精査や手術（脳血管内カテーテル、開頭手術）を受けられた方を対象としています。

2.研究の目的・方法

脳卒中の原因の大半は、生活習慣病である高血圧、糖尿病、脂質異常症などを基盤に生じた血管病変や心病変に起因するものです。一方で、脳卒中の中には上記のような生活習慣病とは無関係な病変が存在します。その中には、動脈と静脈のつながりに異常を認める脳・脊髄動静脈瘻や脳・脊髄血管奇形などがシャント疾患として知られています。

これらシャント疾患は、致命的な出血や進行性の症候性神経症状を呈することがあり、積極的な手術加療が必要となることがあります。しかし、これらのシャント疾患の頻度は少なく、症状の悪化・改善などに関する臨床経過、治療後の転帰などに関する十分なデータが未だ存在していません。

そこで、本研究では、これらシャント疾患群の臨床経過や治療経過に関する検討を行い、シャント疾患の病態解明を目指します。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）画像記録に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、治療歴、診療画像、副作用等の発生状況、カルテ番号 等